

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	川口 勝美
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3 5 2 3
事務事業名	4229 公園管理事業						
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課						
施 策	06023100 良好な景観要素の保全と育成の推進						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	080403 土木費・都市計画費・公園事業費					
	事業	010000 公園管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
公共施設としての安全性と利便性を確保し、親しまれる公園づくりを推進する。				市民の安らぎと憩いの場として、魅力ある公園・緑地づくりを行う。 幼児から高齢者の各年齢層の誰もが、公園等を安全に利用するため、遊具等の計画的な点検、修繕及び新設を行う。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
職員による毎月の日常点検、専門業者による年1回の定期点検を実施。また、劣化等による更新。 併せて、樹木枯枝の整枝剪定、公園、砂場の清掃の実施により安心して利用できる公園とする。	職員による毎月の日常点検、専門業者による年1回の定期点検を実施。また、劣化等による更新。 併せて、樹木枯枝の整枝剪定、公園、砂場の清掃の実施により安心して利用できる公園とする。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
職員による毎月の日常点検、専門業者による年1回の定期点検を実施予定。また、劣化等による更新及び安全対策を行う。 併せて、樹木枯枝の整枝剪定、公園、砂場の清掃の実施により安心して利用できる公園とする。	職員による毎月の日常点検、専門業者による年1回の定期点検結果を基に遊具等の修繕を行った。 樹木枯枝の整枝剪定、公園、砂場の清掃などの実施により誰もが安心して利用できる公園に心掛けた。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
職員による毎月の日常点検、専門業者による年1回の遊具定期点検を実施し、緊急性のあるものから修繕等を行った。また、公園内の支障木等の整枝剪定、公園の清掃（トイレ、砂場含む）により安心して利用いただけるよう努めた。	職員による毎月の日常点検、専門業者による年1回の遊具定期点検を実施予定。また、劣化等による修繕・更新を実施し、安全対策を行う。公園内の支障木の整枝剪定、公園の清掃（トイレ、砂場含む）等の実施により、誰もが安心して利用できる公園とする。

指標名	公園遊具等の修繕・更新数				
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標			20	15
	実績			11	
指標選定の理由	安心・安全な公園とするため、職員による日常点検、専門業者による遊具定期点検を実施し、劣化した遊具等を修繕・更新する。				
最終年度目標の根拠	年1回の専門業者による遊具定期点検により、総合判定基準の低い遊具を定期的に修繕・更新していく。				
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和2年度 予 算
事業費		5,378	6,594
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	68	68
一般財源		5,310	6,526
人員数(人)	正規職員	0.5	0.6
	嘱託職員	0.4	0.5
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	3,632.5	4,359.0
	嘱託職員	1,131.6	1,414.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,764.1	5,773.5
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		10,142.1	12,367.5

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	12	育成会への街区公園(8公園)の管理費12
11節 需用費	1,490	公園の光熱水費327、遊具・トイレ等の修繕1,006、消耗品157
13節 委託費	3,095	公園遊具の保守点検459、砂場の清掃443、公園の清掃192、整枝剪定の委託1,134、廃棄物処理委託42、公園管理シルバー825
15節 工事請負費	297	公園遊具新設297
19節 負担金補助及び交付金	30	遊具の日常点検講習会受講料11、労働安全衛生特別教育受講料19
その他	454	旅費17、公園土地借上料313、手数料112、原材料費12

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,528	公園の光熱水費368、修繕1,000、消耗品160
12節 委託費	3,410	公園遊具の点検461、砂場の清掃451、公園の清掃200、整枝剪定の委託1,200、公園管理1,098
14節 工事請負費	1,185	公園遊具の設置685、公園遊具の撤去500
18節 負担金補助及び交付金	36	労働安全衛生特別教育受講料25、遊具の日常点検講習会受講料11
その他	435	旅費18、公園土地借上料313、原材料費17、手数料87

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	市民の安らぎと憩いの場として、必要不可欠な公共施設であるため、安全性と利便性を確保できるよう公園の維持管理を行っていく。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	遊具、ベンチ、トイレなどの老朽化により修繕等が増加傾向となっている。また、公園内の樹木も樹齢を重ね、高さを含め大きくなっており剪定も増加傾向だが、予算確保が難しい状況である。予算の範囲内で緊急性を考慮し、優先順位を設け対応している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	簡易なベンチの修繕や水栓交換、低木の剪定などは職員で対応し、コスト削減に努めている。しかし、今までは地元区で行っていただいていた公園の一部管理等が、高齢化により対応できないという話もあり、公園管理業務は増加していくと思われる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

各公園の遊具、ベンチ、トイレなどが老朽化しているが、修繕・更新費などの予算が不足しており、適切な維持管理が難しい状況になっている。また、地元区から遊具新設や施設の改善要望があっても、予算がなく応えられていない。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
維持管理は、直営・委託を継続する。 遊具の更新は、地域の要望や定期点検の結果に基づき 計画的に行う必要がある。		遊具などの施設の老朽化が進みつつあり、維持管理や 施設の更新を計画的に進める必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	